



コスモスだより

【ニューストピックス】

「消化器・肝臓センター」

＝ 消化器・肝臓疾患診療の窓口として ＝
＝ 内視鏡を使った検査・治療現場として ＝

【お知らせ】

新看護局長就任のご挨拶
新事務局長就任のご挨拶
第55回 市立貝塚病院 市民公開講座
平成27年度 紹介件数のご報告
消化器・肝臓センター開設記念講演レポート
健診センターからのお知らせ
「トモシンセシス撮影（3Dマンモグラフィ）」乳がん検診開始
「眼科ドック」開始

病院の理念 基本方針

地域住民を守る良質な医療の提供

1. 医療を通じ患者さんの喜びが自らの喜びになるような職業人をめざします。
2. 常に技術の研鑽に努め、高度な医療の提供により、病気の早期発見・治療の充実をめざします。
3. 患者さんの治療には、各々の職務を結集したチーム医療をめざします。
4. 地域の医療機関と連携を密にし、信頼される中核病院として急性期医療をめざします。

「消化器・肝臓センター」

≡消化器・肝臓疾患診療の窓口として≡
≡内視鏡を使った検査・治療現場として≡

市立貝塚病院では、泉州地域の消化器疾患治療の拠点としての役割を果たすため、診療の強化に努めてきました。

増え続ける患者さんに対し、十分な診察機能と検査機能を備えるためリニューアルした新たなセンターは、「消化器センター」から「消化器・肝臓センター」へとステップアップし、3月から診療を開始しています。



■消化器疾患の診療は『消化器・肝臓センター／消化器内科』から

■『消化器・肝臓センター』は消化器疾患診療の総合窓口

消化器疾患分野は取り扱う臓器【食道・胃・腸・肝・胆・膵など】が多く、それぞれの臓器が異なった特徴を持つため、細かな専門分野に分かれています。当院では、消化器内科・消化器外科共に多くの専門医が集結。外科・内科の分野を超えたカンファレンスを実施し、患者さんに最も適した治療を十分に検討しながら、消化器疾患分野全般に渡って、質の高い医療を提供しています。

こうした幅広い消化器疾患の検査・診断を行い、診療の第一窓口となるのが「消化器内科」です。

■診察や診断だけでなく、内科的治療も実施

消化器内科では、『消化器・肝臓センター』の内視鏡検査室を始め血管造影室やX線室などでの検査のほか、様々な治療を行っています。

消化器内科での治療には、内視鏡やカテーテルを使った治療や、針を腫瘍に差し込みラジオ波で焼き切る治療など、様々な治療方法があります。

こんな症状のある方は、消化器内科の受診を！

- 腹痛、胃痛、お腹が膨れる
 - 胸焼け、吐き気、嘔吐、吐血（血液や血液交じりの吐物）、下血（お尻からの出血）
 - 発熱が続く、体重減少、食欲不振、食べ物がつかえる
 - 貧血、黄疸（眼球や皮膚、尿が黄色くなる）
- これらの消化器症状の際に、お気軽にご相談いただける診療科です。胃や食道、腸、胆のう、膵臓など、広く消化器領域の病気の診断と治療を行っています。

消化器内科部長
垣田 成庸



■内視鏡検査室は、検査・治療だけでなく、人間ドックや地域医療機関からのニーズにも対応！



内視鏡検査室では、上部内視鏡（胃カメラ）・下部内視鏡（大腸カメラ）検査や診断に必要な組織の採取だけでなく、内視鏡を使って患部を切除するポリペクトミー・EMR・ESDなどの治療を行います。

- 経鼻内視鏡もあります。鼻から入れるため、口からより苦痛が軽減されます。
- 鎮静剤を使うことで、眠っている間に楽に受けられます。
- 大腸の前処置が難しい方は、入院して前処置を受けることが可能です。

《地域医療機関からの依頼による検査も実施》

地域の先生方からの依頼による検査も行っています。上部内視鏡のみ受け入れる医療機関が多い中、当院では下部内視鏡も受け入れています。

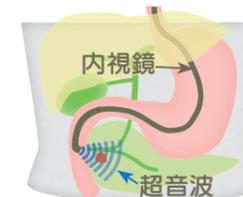
《移動式ベッドを採用し、鎮静剤使用時も楽で安全に》

内視鏡検査と移動を兼用できる専用の可動式ベッドを採用。鎮静剤使用時にも安全に移動が可能です。リカバリー室には、可動式ベッドに加え、ゆったりとくつろげるリクライニングシートもご用意しています。

■より正確な診断のために、高精度な内視鏡機器を使用

超音波内視鏡／超音波内視鏡下穿刺生検

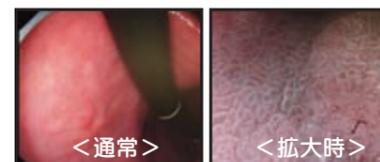
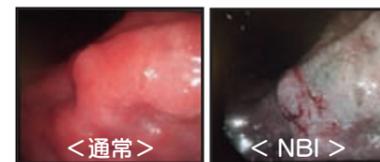
体内から超音波を当てることで、体表からの超音波検査では見えにくい深い部分も観察できます。超音波内視鏡を使用し、内視鏡先端から針を刺して細胞を採取する生検も実施しています。



NBI（狭帯域光観察）拡大内視鏡

NBIは、特殊な光により粘膜内の血管などをより鮮明に画面に表示する技術です。通常の光では観察しにくかった早期がんも発見されやすくなります。

また、画像の拡大機能があり、病変の大きさ、形、色、表面性状などの詳細な観察を行うことができます。



医師の手・眼となる機器を正常に機能させるために
モニター画像や内視鏡で使用する電気メスなどは、医師の手や眼となるもの。安全な施術は、こうした機器が正常に動いてこそです。定期的に医療機器の整備や点検を行いながら、医療の安全を支えています。

臨床工学技士
前田直紀



安全な検査のために洗浄なども丁寧に

内視鏡は患者さんの体内に入れるもの。感染予防のため、洗浄液の用量や使用期限などにも十分に気をつけて管理しています。今回、最新の機器に更新されていますので、これからも日々勉強です。

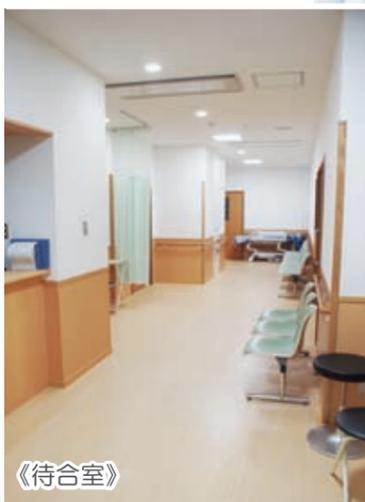
検査を安全安楽に受けていただく

内視鏡検査技師の仕事は、患者さんの不安の軽減に努めることです。そのため、検査の一つひとつ丁寧に説明し、検査中の声掛けなどにも気を配っています。とてもキレイなセンターですので、健診などにも是非ご利用ください。

看護師・内視鏡技師
曾我雅美



看護師・内視鏡技師
藪光穂



医師スタッフ



新看護局長からのご挨拶

看護の原点は思いやり・やさしさ

看護局長 田浦文子



この度、4月1日より市立貝塚病院の看護局長に就任させていただきました。
看護学校卒業後から当院の看護師として勤務し、私の看護師人生を過ごしたこの市立貝塚病院も今年で77年を迎えます。市立貝塚病院はこれまで、時代の要請に応え医療行政の変革の波を乗り越えるべく、新病院開院、病院機能評価受審、電子カルテシステムの導入、DPC制度導入など、様々な対応をしてきました。
今年度の診療報酬改定においては、入院基本料7対1の要件として一般病棟の重症度、医療・看護必要度が15%から25%に引き上げられています。つまり、当院のように高度な医療を提供する急性期病院は、重点的な医療ケアを必要とする重症度の高い患者さんの入院施設としての役割を果たし、慢性期病院やクリニック、介護サービスとの連携や役割分担を明確にしなければいけません。このように、超高齢社会到来に向けて、医療提供体制の再構築や地域包括ケアシステムの構築を進めることが示されました。またチーム医療の推進を図るため、提供する医療の質の向上と効率的なサービスの提供が望まれています。その中で、看護局としてこれからの医療・看護を見据え責務を果たすべく努力をしてみたいと思っております。
私たち看護局の業務は、入院から在宅に向けての環境調整、また、地域と連携を図り患者さんが在宅で困らない生活をめざし支援していくことです。そのため、看護の質の向上と専門性を発揮し、看護職員が働きやすい職場風土の構築とともに、自律した看護師の育成に向け努力をまいります。
また、看護の原点は思いやり、やさしさにあります。個々の患者様に寄り添い、最適な看護を提供するため、看護師一人ひとりが日々研鑽を重ね、今後もより一層地域医療の発展に努めてまいりますので、今後ともご指導、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

新事務局長からのご挨拶

市民の皆様安心していただける病院を目指して

事務局長 藤原 康成



平成28年4月1日付で事務局長を拝命いたしました、藤原でございます。
市立貝塚病院には昨年4月1日から勤務しており、2年目になりますがまだまだ新米ですので、皆様のご指導を宜しく願いたします。
市立貝塚病院では、昨年5月に「緩和ケア病棟」を開設し、大阪府指定がん診療拠点病院として、予防・早期発見から高度がん治療や緩和・ターミナルに至るまで切れ目のないがんのトータルケアを実施しています。同じく昨年10月に「人工関節センター」を開設し、人工関節を用いた領域の診療をさらに拡大しております。また、本年3月には消化器センターを「消化器・肝臓センター」に改編し、内視鏡検査と診療を同一フロアで行うことにより、診察と検査の一体化を図り、今まで以上に専門性が高く効率の良いチーム診療を可能としました。さらに肝疾患治療を拡充することで、充実した医療体制を活かした、泉州地域の消化器疾患及び肝疾患治療における拠点病院としての機能を担っていくよう施設整備を進めております。さらに、本年4月に、地域医療連携室の体制を強化しており、地域の医療機関の先生方との連携をさらに進めてまいりたいと考えておりますので、先生方のご協力を宜しく願いたします。
今後におきましても、病院の健全経営を進めつつ、市民の皆様のニーズに対応し、安心して治療が受けられるような施設整備に精一杯取り組んでまいります。

第55回 市立貝塚病院 市民公開講座のお知らせ

【テーマ】～先手必勝！～ 糖尿病はこわくない part 2

【日時】7月29日(金) 15:00～16:30

【講師】内科(糖尿病専門医) 直 克則
薬剤師 松岡 智美によるワンポイントアドバイスもあります。

【場所】市立貝塚病院 7階講義室 【費用】無料(定員70名 要予約)

【申込・お問い合わせ】市立貝塚病院 地域医療連携室 ☎072-422-5865 (内線:236)

※1階総合案内でも予約受付しております。

※FAXでも受け付けております。FAX:072-439-6061

お名前・連絡先・申込する講座テーマ・日程を記入し送信してください。

●手話通訳可能:手話通訳が必要な場合はご連絡ください

平成28年
7月29日
(金)

地域連携ニュース

平成27年度 紹介件数のご報告

地域の医療機関の皆様から1年間で7,828件のご紹介をいただきました。ありがとうございました。

地域医療連携室は地域の医療機関等と密な連携を図り、機能分担を行いながら、患者様に満足いただける質の高い医療を提供することを目的としております。

患者様にも医療機関の皆様にも、より信頼していただける市民病院となるよう努力をまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

科別	件数	科別	件数
内科	597	小児科	519
消化器内科	1,397	皮膚科	319
神経内科	151	泌尿器科	710
外科・消化器外科	282	産婦人科	1,147
乳腺外科	798	眼科	828
形成外科	202	耳鼻咽喉科	21
整形外科	384	放射線科	473

消化器・肝臓センター開設記念講演レポート

【演題】肝臓病診療の進歩

【講師】大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学教授 竹原 徹郎先生

【日時】平成28年3月31日(木) 16:00～17:00

【場所】市立貝塚病院 7階講義室

本年3月の「消化器・肝臓センター」開設を記念し、3月31日(木)に「消化器・肝臓センター開設記念講演会」が開催されました。

当日は、地域医療機関の先生方をはじめ地域薬局の方など約100名が参加。藤原市長の挨拶に続いて、竹原先生より肝臓病診療の歴史とこれからの新しい治療法についてご講演いただきました。講演後には、新しい治療法の具体的な診療内容などについて数々の質問が出るなど、関心の深さが示されました。



【懇親会】



【当院消化器内科医師と竹原先生:前列右から2番目】

また講演会終了後には、竹原先生と地域医療機関の先生方や当院の医師を交えた意見交換会を開催。より効果的な地域医療連携に向けた、活発な意見交換ができました。

これからも、地域に求められる消化器・肝臓疾患の診療拠点としての役割を果たせるよう努めていきます。



健診センターからのお知らせ

■人間ドック・オプションメニューの女性セットに
最新技術のトモシンセシス（3Dマンモグラフィ）撮影を加えた
マンモグラフィ検診「トモシンセシスセット」を始めます！

従来のマンモグラフィ

標準レントゲン撮影。

乳腺や組織の重なりにより、発見しにくい病変がありました。
※ 1.6mGy の被ばくとなります。

トモシンセシス（3Dマンモグラフィ）撮影

X線管が移動しながらX線を照射して撮影。撮影した画像データを元に1ミリ間隔の乳房の断層画像を作成。

トモシンセシス撮影では3D断層像を作成して表示。断層画像を作成することで、これまでは乳腺に隠れて発見しにくかった病変や乳がんも発見しやすくなります。
※トモシンセシスを加えることで、合計 2.6mGy の被ばくとなります。

トモシンセシスは、従来のマンモグラフィよりも精度の高い診断を可能にする最新の撮影技術です。当院は、トモシンセシス搭載デジタルマンモグラフィを平成 26 年 8 月から導入し「標準撮影後、必要な場合のみ撮影する」という運用を行ってきました。しかし、患者さんからのご要望も多いことから、トモシンセシス撮影を人間ドック・オプションメニュー女性セットに追加し、平成 28 年 5 月より受付を開始いたします。



- 【内容】マンモグラフィ 標準撮影+トモシンセシス撮影 ※トモシンセシス撮影のみのご希望にはお応えできません。
- 【対象】40 歳以上
- 【費用】それぞれのセット料金に 6,000 円がプラスされます
- 【予約・お問い合わせ】市立貝塚病院健診センター ☎ 072-422-5865 (代表)

《トモシンセシス撮影（3Dマンモグラフィ）が追加できる人間ドック・オプションメニュー：女性セット》

メニュー	検査内容	対象年齢	料金(税込)
女性セット A1 (乳がん)	乳腺視触診・乳腺エコー検査・マンモグラフィ（標準撮影）	40 歳以上	10,000 円
	《上記+》トモシンセシス（3Dマンモグラフィ）撮影【希望者】		16,000 円
女性セット A2 (乳がん)	乳腺視触診・マンモグラフィ（標準撮影）	40 歳以上	6,000 円
	《上記+》トモシンセシス（3Dマンモグラフィ）撮影【希望者】		12,000 円
女性セット D1 = A1+B1+C = (乳がん+婦人科がん)	乳腺視触診・乳腺エコー検査・マンモグラフィ（標準撮影）・子宮頸部細胞診・婦人科エコー検査・腫瘍マーカー（CA125・CEA・CA19-9）	40 歳以上	20,000 円
	《上記+》トモシンセシス（3Dマンモグラフィ）撮影【希望者】		26,000 円

■『眼科ドック』が健診センターオプションとして加わります。
中高年の皆さま、眼の成人病チェックをしませんか？

市立貝塚病院では、5月から「眼科ドック」を始めました。「眼科ドック」は、「眼の成人病」と呼ばれる白内障・緑内障・加齢黄斑変性症・糖尿病性網膜症などのほか、目の疲れだけでなく視力低下や結膜炎・角膜炎を起こす可能性がある「ドライアイ」などを早期発見するための精密眼科ドックです。

要予約

現在、日本で失明原因の第一位は緑内障です。また、生活習慣の欧米化などに伴い、加齢黄斑変性症も増加しています。糖尿病性網膜症を含め、失明に至る可能性のあるこれらの疾病は徐々に進行するため、ご自身では気づきにくいという特徴があります。大切なのは、早期発見し早期に治療を開始して進行をおさえることです。

眼に不安のある方はもちろん、自覚症状のない方でも一度眼科的な健康診断を受けましょう。

眼科ドックのみの受診可能!

【実施時間】 月～金曜日 13:00～と 15:00～ 1時間程度

【費用】 10,000 円 (税込)

【予約・お問い合わせ】 市立貝塚病院健診センター ☎ 072-422-5865 (代表)

検査内容	目的等
屈折検査	近視、遠視、乱視などを測定します。
視力検査	裸眼視力、矯正視力（屈折検査で得た度数をもとにする）を測定します。また、老眼の有無やメガネの必要性なども調べることができます。
精密眼圧検査	眼の硬さを測定します。眼圧上昇により緑内障を引き起こすことがあります。
静的量的視野検査（ハンフリー）	視野に異常がないかを測定します。この視野検査は緑内障や脳の病気の診断に役立ちます。
眼底カメラ検査	眼の奥（視神経、黄斑部、血管等）の撮影をします。眼底出血（糖尿病や高血圧）、緑内障による視神経乳頭の変化の有無を調べます。
光干渉断層計（OCT）	網膜を断層撮影し、加齢黄斑変性や糖尿病性網膜症、緑内障などの診断をします。
角膜内皮細胞顕微鏡検査	細胞の密度や状態を検査します。内皮細胞は加齢や長期間のコンタクトレンズ装着により減少することがあります。
精密視野検査（アムスラー）	見たい部分が歪んでいないか、暗く見えていないかを調べます。加齢黄斑変性など中心が暗く見えたり、歪んで見えたり、部分的に欠けて見えることがあります。
細隙灯顕微鏡検査（前眼部及び後眼部）染色検査	白内障、角膜疾患、ドライアイなどを調べます。
（メガネチェック）	（老眼チェックを想定。当該ドック受診の方のうち、必要な方にはサービスで対応。）
問診/診察	

